

No	位置	橋名	諸元								点検履歴	近接方法 (*)	点検表記録様式 様式1 総括															
			上部工		下部工		橋長 m	幅員 m	架設 年	橋齢			部材単位の診断と変状の種類										診断 <small>[前回健全度]</small>	道路橋毎の健全性の診断（総合判定）				
			構造	径間	構造	基礎							主桁	横桁	床版	下部	支承部	その他	診断									
							II	[A]																				
1-1	和泊町 手々知名	南洲橋 (石橋)	石橋	2	A1:その他(橋台) P1:その他(橋脚) A2:その他(橋台)	直接基礎	19	6.5	1919	97	H25 詳細	車	I				II	床版ひびわれ	I			I		II [A]	石橋では、輪石や壁石の一部に欠損が見られるがいずれも軽微である。上部コンクリート床版では、ひびわれ、遊離石灰が見られる。特に、ひびわれは下流側に発生しているため、今後、塩害の影響により損傷が進展する可能性がある。よって、予防保全の観点からひびわれ注入工等の補修が必要と判断しIIと評価した。			
1-2	和泊町 手々知名	南洲橋 (下流側)	プレテン桁橋	2	A1:逆T式橋台 P1:壁式橋脚 (角型)(RC) A2:重力式橋台	基礎形式不明	22.2	2.0	1975	41	H25 詳細	車	III	剥離・鉄筋露出			I		III	うき	I		I	III [E]	上部工、下部工ともにひびわれ、うき、鉄筋露出などの損傷が著しい。塩害対策区内に位置し、H25年の詳細点検時から損傷が進展していることから、今後、橋梁の機能に支障が生じることが懸念される。よって、早急な対策が必要と判断しIIIと評価した。			
1-3	和泊町 手々知名	南洲橋 (上流側)	プレテン中空床版橋	1	逆T式橋台	既製鋼杭	21.6	2.9	1992	24	H25 詳細	車	I		II	定着部の異常	I		I		I		I	II [C]	上部工にひびわれ、遊離石灰、うき、剥離・鉄筋露出が見られ、特に横桁のダイヤフラムでは、定着部の異常と思われる金属の露出が多数見られる。H25年の詳細点検時から損傷の進展は余り見られないが、塩害対策区内に位置し、横締め部の定着部はプレテン中空床版橋の重要な部材であるため、予防保全の観点から断面修復工等の補修が必要と判断しIIと評価した。			
2	和泊町 西原	西原橋	BOXカルバート	1	その他(橋台)	直接基礎	3.6	18.0	1979	37	H23 概略	梯	I										II	土砂詰まり	I [D]	頂版には乾燥収縮ひびわれ、側壁には温度ひびわれ等の収縮ひびわれが多く見られる。ただし、H23年の概略点検時から損傷が進展していないことから、Iと評価した。		
3	和泊町 和泊	奥川橋	RC中実床版橋	1	重力式橋台	直接基礎	11.8	5.8	1986	30	H23 概略	梯	I											I	I [D]	平成27年度に補修工事を行っており、健全な状態であったため、Iと評価した。		
4	和泊町 和泊	明治橋	プレテンI桁橋	1	重力式橋台	直接基礎	8.0	6.2	1981	35	H23 概略	車	I				I							I	I [B]	上部工では、間詰めの一部に遊離石灰や欠損、主桁下面の排水管設置位置に鉄筋露出が見られるが、いずれの損傷も軽微である。H23年の概略点検時から損傷が進展していないことから、Iと評価した。		
5	和泊町 和泊	昭和橋	プレテン床版橋	1	逆T式橋台	直接基礎	11.0	11.0	2008	8	H23 概略	車	I				I					II	土砂詰まり	II	土砂詰まり	I [C]	上部工に損傷は無く、概ね良好である。橋台に鉛直方向の温度ひびわれが見られるが、軽微である。H23年の概略点検時から損傷が進展していないことから、Iと評価した。	
6	和泊町 大城	大城橋	RC中実床版橋	1	重力式橋台	直接基礎	11.1	7.2	1984	32	H23 概略	車	II	ひびわれ									II	土砂詰まり	II	土砂詰まり	II [D]	主桁では、下面から側面にかけて橋軸直角方向のひびわれ(0.2mm)が顕著である。ひびわれの発生状況により、輪荷重による応力ひびわれと推察される。H23年の概略点検時から損傷の進展は見られないが、ひびわれが著しく、劣化因子の導入を防止するため、予防保全の観点からひびわれ注入工等の補修が必要と判断しIIと評価した。
7	和泊町 大城	大津美田橋	RC中実床版橋	1	重力式橋台	直接基礎	12.1	6.2	1984	32	H23 概略	車	II	ひびわれ			I						II	土砂詰まり	II	土砂詰まり	II [D]	主桁下面、側面に橋軸直角方向のひびわれ(0.2mm)が多く見られ、主桁下面中央では遊離石灰も見られる。ひびわれの発生状況より、輪荷重による応力ひびわれと推察される。H23年の点検時から損傷の進展は見られないが、ひびわれが著しく、劣化因子の導入を防止するため、予防保全の観点からひびわれ注入工等の補修が必要と判断しIIと評価した。
8	和泊町 後蘭	松山橋	RC中実床版橋	1	重力式橋台	直接基礎	5.4	6.6	1978	38	H23 概略	梯	II	うき										II	舗装の異常	II [A]	主桁では、地覆側面から漏水の影響がある範囲を中心にひびわれやうきが見られる。橋面では舗装ひびわれや滞水、土砂詰まり等の桁下の損傷を進展させる損傷が見られる。桁下のひびわれやうきは、内部鉄筋の腐食による損傷の可能性が高いことから、今後も損傷が進展すると推察される。よって、予防保全の観点から断面修復工や防水対策が必要と判断しIIと評価した。	
9	和泊町 後蘭	みずほ橋	RC中実床版橋	1	重力式橋台	直接基礎	5.4	6.6	1973	43	H23 概略	梯	I											II	土砂詰まり	I [A]	主桁に橋軸方向のひびわれやうき、かぶり不足による鉄筋露出が見られる。いずれの損傷も軽微であるため、Iと評価した。	
10	和泊町 和泊	天神橋	プレテンI桁橋	1	重力式橋台	直接基礎	9.0	6.2	1981	35	H23 概略	梯	I				I						II	土砂詰まり	II	土砂詰まり	I [B]	上部工の損傷は軽微であり、概ね良好である。橋台に鉛直方向の温度ひびわれやかぶり不足による鉄筋露出が見られる。H23年の概略点検時から進展していないことからIと評価した。
11	和泊町 和泊	天神側道橋	プレテン中空床版橋	1	重力式橋台 (小橋台)	既製鋼杭	16.0	3.3	2015	1	-	梯	I				I								I	I [-]	H27年に新設された橋梁で、損傷はほとんど無く、健全であるため、Iと評価した。	
12	和泊町 谷山	くらごう橋	プレテン中空床版橋	1	重力式橋台	直接基礎	15.0	6.6	2002	14	H23 概略	梯	I				I							II	土砂詰まり	I [A]	主桁下面に見られる橋軸方向のひびわれ(0.2mm)は、内空部の形状による収縮ひびわれと推察される。橋台には鉛直方向の温度ひびわれが見られる。いずれの損傷も軽微であるため、Iと評価した。	

(*)車：橋梁点検作業車 梯：ハシゴ又は脚立 地：地上点検